

令和7年度 生命医科学域セミナーⅩⅢ

演題：薬理学と眠気学への私の取り組み

演者：丹羽 康貴先生

弘前大学 大学院医学研究科附属バイオメディカルリサーチセンター病態薬理学講座・准教授

日時：令和7年11月21日(金) 16:30～18:00

会場：健康医科学イノベーション棟8階講堂

要旨：

20年以上前、医学部学生だった私にとって薬理学は取り組みにくい学問だった。無数の薬の名前に戸惑い、生理で学んだ健常メカニズムや病理で学んだ疾患メカニズムを学び直す薬理学を俯瞰して楽しむ余裕はなかった。奇しくも現在、私が研究対象とする「眠気」も同じく取り組みにくい現象だと言える。覚醒から睡眠へと私たちの行動の橋渡しをする眠気だが、それを研究する(眠気学)に際して、どのような切り口で、どのように理解すべきか自明ではない。私はこれまでに、いくつかの遺伝子改変マウスの作成・解析を通して、行動学的には眠気を感じていないと考えられる表現型と出会う機会を得た。それ以降、その表現型を切り口にした眠気の研究を試みてきた。最近になって、これまでに得られたいくつかの実験結果をもとに、検証すべき魅力的な作業仮説に至っている。本講演では、眠気学への私の取り組みを、現所属での薬理学教育に対する取り組みとともに紹介させていただきたい。